



2024年**8月号**
医療生協
宮崎医療生活協同組合
http://www.miyazaki-iryuu.coop/
〒880-0824 宮崎市大島町天神前1175-3
発行 機関紙編集委員会
責任者 仁田脇弘文

8月号
(No.515)



おげんきですか

宮崎生協病院
http://m-seikyohp.com/
和知川原生協クリニック
このはな生協クリニック
おおつか生協クリニック
生協クリニックのべおか
訪問看護ステーションれいんぼう
周宅介護支援事業所れいんぼう
ホームヘルプサービスれいんぼう
居宅介護支援事業所宮崎生協病院
生協ホームヘルプサービスれいんぼう
訪問看護ステーションそれいゆ
宮崎医療生活協同組合

☎(0985)24-6877 FAX 29-4839
☎(0985)23-0050 FAX 23-0303
☎(0985)58-1222 FAX 58-3110
☎(0985)52-6715 FAX 51-9004
☎(0982)26-7100 FAX 26-7101
☎(0985)23-7728 FAX 24-0515
☎(0985)24-8538 FAX 24-0515
☎(0985)24-8538 FAX 24-0515
☎(0985)24-6545 FAX 29-4839
☎(0982)31-1453 FAX 31-1452
☎(0982)26-2536 FAX 31-1452
☎(0982)31-1442 FAX 26-1944
☎(0985)23-7168 FAX 26-1944

第35回通常総代会 6月27日に開催、全での議案が全会一致で可決

議案の説明と報告

仁田脇弘文専務理事より第7次5か年計画と宮崎医療生協の2023年度の活動の振り返りや経営報告、2024年度の方針と予算の基本的な考え、全国4課題や担い手づくりについて

介護施設が同じ状況で、社会的共通資本と言われる医療福祉の分野で格差が広がっています。政府は軍事費にお金をつぎこみ、マイナンバーにみられるように国民を管理する時代となり、自己責任を強いられています。戦前に近くなっていると感じています。こんな時代だからこそ、私たちは地域に寄り添って伴走者のような役割を担わなければなりません。」

また、「私たち医療介護従事者が果たす役割を再度考えていかなければなりません。『集まる』『見守る』『助け合う』活動が地域を支えています。誰一人取り残されない宮崎を、いつまでも住み続けられる宮崎をつくりたいのです。人と人とのつながりを大切に自分たちの健康を守る活動を行っていきます。医療生協は地域の要求にこたえ、職員・組合員・地域の他の医療・介護事業所と連携しながら、働きやすい職場、生きがいを持った職場を作り、全員の力をあわせて組合員さんとともに頑張っていきます。ご協力お願いします。」とあいさつをしました。



あいさつをする日高理事長

日高理事長あいさつ

今年度の通常総代会は、昨年度に引き続き通常規模での開催となりました。事前に全総代196名に議案書を送付、31名から議案議決書が届き、165名がオルブライトホールに集まり無事に開会しました。

冒頭、日高明義理事長より「コロナの影響もあり職員体制の厳しい中、研修医が2名入職し研修病院としての位置づけも高くなっています。コロナ感染の広がり、の影響が厳しく、生活だけでなく医療介護も影響を受け、当法人も縮小再編を余儀なくされました。経営状況は厳しく、全国の医療

① 他法人や事業所と比較した際、離職率が特別高いという訳ではありませんが、退職理由を把握し、働き続けるための環境づくりの改善を図っていきます。離職の要因の一つとして、コロナ禍で本来の患者さんとしつかり向き合えないストレスがありました。職員が働き続けるために、必要な環境整備や医療生協・民医連の理念学習、チームにおける事例検討を丁寧に進めていきます。ひとつづつ、育成の今年度の課題は「対話」です。困難を切り開くのは幹部や職員、職員だけではありません。組合員さんの力も借りながら、積極的に対話し、コミュニケーションを取ることを重視していきます。(2面に続きます)

総代からの発言通告用紙についての回答、採決

活動報告後には一度休憩をはさみ、参加された総代から発言通告用紙を通して3つの質問があったため、仁田脇専務より回答が行われました。質問内容は①職員の離職について②小規模おおつかの家、のべおかの高齢者協同住宅開設の時期について③おげんきですかの手配り配布と支部の援助金についての3つでした。

また、佐土原支部、都北支部より「あおぞら健康相談会」(年間100回の班会)について支部活動の報告が行われました。



活動報告中の三宅副院長

各事業所活動報告

ついでに報告がありました。特に、組合員さんたちから問い合わせが多かった医師・看護師の後継者問題や、遠藤医師の異動問題などについての説明を行い、報告を終えました。

その後、宮崎医療生協各事業所の職員4名より、病院の各部署や各クリニックで行われている活動についての報告が行われました。その中でも、病院の井上総院長と三宅副院長より看護師、医師の後継者問題についての現状と今後の対策について、第1号議案の補足説明がありました。参加した総代からは「コロナ禍で職員の仕事の過酷さが良くわかる報告だった。」との感想がありました。

◎病院及び医師の都合上、右表のとおりにならない場合があります。あらかじめご了承ください。

8月の診療案内

循環器内科(遠藤・坂口)、消化器内科(古谷)、呼吸器内科(永友・三宅)、糖尿病内科(植野)、内科・リハビリ(高橋麻里子)、透析(西谷)、外科・肛門外科(山岡・松田・黒木・末岡)、小児科(山元・上野・久保・松尾)、後期研修医(黒木(俊))、初期研修医(荒木・甲斐・黒木(研)・荒武・斎藤) ※研修医は院外研修中の場合もあります。

宮崎生協病院 宮崎市大島町天神前1171 内科・外科 ☎0985(24)6877 小児科 ☎0985(24)6575 健康診断科 ☎0985(24)6566 居宅介護支援事業所 ☎0985(24)6545											
内 科				外 科		小 児 科				夜 間	
午 前		午 後		午 前	午 前	午 後		夜 間		夜 間	
受付 8:00~11:00 診療 8:30~12:00		受付 13:30~16:30 診療 14:00~17:00		受付 8:00~11:45 診療 8:30~12:30	受付 8:15~11:45 診療 8:30~12:30	13:30~16:30 13:45~16:15 (要予約)		11:00 14:00 (要予約)		15:30~18:00 診療 16:00~18:30	
一 般	予 約 制	一 般	予 約 制	一 般	予 約 制	乳児健診		予防接種		アレルギー特診	
月	交替制	坂 口		交替制	14:00~16:30 高橋麻里子	山 岡	山元・松尾	山 元	久 保	山元・松尾	松 尾
火	交替制	遠 藤	植 野	交替制	13:30~17:00 永 友	山 岡	山元・松尾	松 尾	久 保		
水	交替制	坂 口	宮 園	第1・3・5週 休診 第2・4週 交替制		松 田	山元・松尾	休 診			
木	交替制	遠 藤	古 谷	8:30~10:00 第1・3・5(三宅) 第2・4(永友)	小 澤	休 診	山元・久保	山 元	久 保	山元・松尾	松 尾
金	交替制	遠 藤		交替制		黒 木	山元・松尾	交替制	交替制		山 元
土	交替制	永 友 (第4週のみ)	糖尿病外来 (第1週)	休 診		第1・3・5週 交替制 第2・4週 休 診	交替制	休 診			

●8月14日(水)、15日(木)は休診となります。

和知川原生協クリニック 宮崎市和知川原2丁目25-1 ☎0985(23)0050			
診療時間	午 前	午後	夜 間
	8:30~12:30 (受付11:45)まで		17:00~19:00 (受付18:30)まで
月	植 野	植 野	
火	生協病院からの支援		
水	植 野	訪問診療	植 野
木	植 野		
金	植 野		
土	植 野 (第3土曜休診)		

●8月14日(水)、15日(木)は休診となります。

おおつか生協クリニック 宮崎市大塚町大迫南4401-2 ☎0985(52)6715			
診療時間	午 前	午後	夜 間
	8:30~12:30 (受付11:30)まで		17:00~19:00 (受付18:30)まで
月	浜 田		
火	浜 田		
水	浜 田	訪問診療	浜 田
木	浜 田		
金	浜 田		
土	浜 田 (第2・4土曜休診)		

●8月14日(水)、15日(木)は休診となります。

このはな生協クリニック 宮崎市大字熊野1613 ☎0985(58)1222			
診療時間	午 前	午後	
	8:45~12:30 (受付11:45)まで	15:00~18:00 (受付17:40)まで	
月	高 田	高 田	通所介護 デイサービス 月曜日 ~土曜日 9:00 ~15:30
火	高 田	休 診 (訪問診療)	
水	高 田	休 診 (訪問診療)	
木	高 田	休 診 (訪問診療)	
金	高 田	高 田	
土	高 田		

●8月14日(水)、15日(木)は休診となります。

生協クリニックのべおか 延岡市浜砂1丁目5-17 ☎0982(26)7100			
診療時間	午 前	午後	
	9:00~12:30 (受付12:00)まで	15:00~17:30 (受付17:00)まで	
月	末 岡	末 岡	通所介護 デイサービス 月曜日 ~土曜日 9:30 ~16:00
火	末 岡	末 岡	
水	末 岡	末 岡	
木		生協病院からの支援 14:00~17:00	
金	末 岡	末 岡	
土			

●8月14日(水)、15日(木)は休診となります。
●火曜、水曜、金曜の13:30~15:00までは訪問診療

体温計

「説(き)弁(べん)：たくみに人を感(かん)わすことば。こじつけの弁論(べんろん)道理に合わない弁論(べんろん)。(漢語林 平成4年改訂より)国会答弁を聞きながら、浮かんた言葉である。虚しい言葉が行き交い、中身のないやり取りが続いていた▼平成8年「成人病」から「生活習慣病」への名称変更が行われた。「年齢とともに病気になるのは仕方が無い。治療しなすよう。」という消極的な考えから、「生活習慣の改善で病気の発生のを抑えて対策を取ろう。」という積極的な姿勢へと変わった。名称の変更と共に病気にに対する意識や行動にも変化が見られた。改めて言葉の持つ力について考えさせられる▼では、「後期高齢者」という名称はどうだろう。立案の段階で、「高貴」であったとしたら、制度の考え方も違ったものになっていたかもしれない。自ずから敬うような気分が生まれ、会議の雰囲気も変わっていったのではないだろうか。子どもや若者の歩んでいく先が人生の「後期」ではなく「高貴」であるなら、希望を持って胸を張っていきそうなのがまず「高貴」を用いてみようか。独り相撲と言わゆるかもしれないが、(M・F)

高齢者共同住宅

みんなの家

宮崎市大島町国草142-2
TEL 0985-75-0700

小規模多機能ホーム

高齢者共同住宅

ぎおんの家

宮崎市祇園3丁目195番地
TEL 0985-61-7720

宮崎市和知川原2丁目25-1

グループホーム にじの樹

TEL 0985-35-6022

デイサービス和知川原

TEL 0985-32-3414

グループホーム

おおつかの家

宮崎市大塚町西ノ後3435番地1
TEL 0985-52-2225

2024年度 第2回理事会の報告

<審議事項>

- ・2024年6月度の組合員活動の概要（仲間増やし38名、出資金増資269万円、班づくり0班、班会開催68回）と取り組みについて報告
 - ・平和と社会保障を守る取り組み（全国・宮崎県の情勢や主な取り組み署名）について報告
 - ・宮崎県弁護士会主催「紙の保険証、廃止するの？」へパネリストとして居宅介護事業所れいんほう落合所長が参加することを報告
 - ・2024年5月の経営状況についての報告（法人の経常利益－863万円で予算未達成）
 - ・第35回通常総代会について（総代169名中、本人出席115名、委任状50名、書面議決31名、理事監事30名）報告、提案
 - ・支部活動援助金規定の変更について提案
 - ・このはな生協クリニックの就業時間について変更の提案
 - ・役員報酬検討委員会についての提案
- 等々、以上可決承認いたしました

おげんきですか文芸欄



〈俳句〉

夏来たるキオビエダシヤク振りまさる
今日も又十葉取りて日の暮るる

門川町 黒木 邦子さん

〈短歌〉

戦争があつた証の不発弾
地中に七十年黙っていたる
一瞬に生く物あやむ技ありぬ
ウイルス制す術はあらずや

都北支部 堀 和子さん

医系学生のための食材支援
(フードドライブ)にご協力ください!

ご寄付いただきたい食品等

- ◎2～3kgで小分けされたお米
- ◎バックご飯
- ◎バスタなどの乾麺
- ◎バスタソース
- ◎インスタント食品
- ◎お菓子
- ◎生理用品
- ◎ティッシュ
- ◎宮崎市指定のゴミ袋



ご寄付いただいた食品

支援していただく食品は最寄りのクリニックでも受け付けています。詳細は中原までご相談ください。

●実施日時●

毎月第1・4金曜日 15時～18時
※4月から、実施を月1回（第4金曜）のみに変更となります。

●回収場所●

- ◎宮崎医療生協本部 宮崎市大島町天神前1175-3
- ◎医系学生サポートセンター 宮崎市清武町木原5536番地1階

●お問い合わせ●

学生担当/坂本・中原 TEL:080-8380-6271

今、宮崎医療生協は 2024年6月30日現在

■新規加入者	38名(6/1～6/30)	■平均出資金	12,555円
■総組合員数	45,467名	■班数	184班
■出資金	5億7,084万円	■おげんきですか手配り配布数	17,558部

九州沖縄組合員交流会 in 佐賀

7月16日から17日にかけて、九州沖縄ブロック組合員交流研修会が佐賀の唐津で開催されました。この交流研修会は、九州沖縄ブロックの組合員活動の実践を持ち寄り、互いに学びあい、今後の組合員活動を豊かにするという目的で毎年開催されています。ここ数年はコロナの影響もありwebでの開催となっていました。今年度は5年ぶりに現地での開催となり、九州・沖縄全体で380名が参加され、宮崎からは34名の組合員さんと職員2名が参加しました。

1日目はまず基調報告として、「2024年度の生協月間方針」について、「コロナ禍を経ての困難な状況の中、職員と組合員と一緒に活動し担い手を作る事。地域の『困った』解決に取り組み居心地よく暮らせるまちづくりを。」との提起がありました。その後の記念講演は、佐賀大学名誉教授の染谷孝氏より「今こそ憲法から学ぶ、安全で平和な社会を守るために」と、「佐賀空港の建設時、自衛隊との共用はしない協定を結んだにも関わらず、佐賀駐屯地（仮称）の工事開始を強行している」「事故が多発している危険なオスプレイを17機配備する計画が



報告を行う村尻理事

ある」と佐賀県の現状を話され、「着々と国が戦争準備を進めている状況で、今こそ憲法を守ろう!」と講演の結びがありました。各医療生協による単協報告では、沖縄から米軍基地問題、大分からはたまり場と子ども食堂、佐賀からの合同班会の活動報告があり、宮崎からは2022年から取り組んでいる「あおぞら健康相談会」について大塚江南支部の村尻理事が報告しました。その日の夜に行われた夕食交流会では、各県の出し物と挨拶があり、奄美の踊りのアンコールでは会場全体で踊りの輪が広がり、参

加者全員が楽しみ、大いに盛り上がりました。

2日目の分科会は、オスプレイのシンポジウム、原発フェイェルド、大分の「スクエアステップ」の体験、小分科会は「組織づくり」「まちづくり」「健康づくり」「平和と社保活動」に分かれ、各県の活動交流を行いました。担い手不足など共通の課題を抱える中、新しくて楽しい取り組み、地域の他団体と一緒に取り組む重要性を認識しました。来年の交流会は、大分県で開催される予定となっています。たくさんさんの組合員さんによる交流を楽しみにしています。ぜひご参加ください。



夕食交流会での宮崎の組合員さん



採決時の165名の総代

医療生協の理念に基づいた生協運動を継続し、担い手を増やすことを総代の皆さんに役割の一つとしていただきました。次世代にバトンをつなぐことができるよう、これからの高齢化社会の中でどのように運動を継続していくかをこの5年間で確認しながら話し合っていければと思っています。

質疑応答後、第1号議案から第7号議案までの採決が行われ、すべての議案が全会一致で採決となりました。

③ 社会的には超高齢化社会に突入し、宮崎に限らず全国的に介護士が不足しています。法人としても、高齢者協同住宅の継続が難しく、休止を選択しています。介護士の処遇改善が進み、法人としても介護士の確保と育成について事業経営の努力をし、一定の職員の確保の目処が立った状態を時期として捉えています。しかし現時点では、定着と確保にも困難を極めている状態です。事業再開の見通しが立った時に具体的に工程表を作成し、再開に向けた動きをつくることとします。ただし、医療生協と介護事業は、理念を実行する上で必要であるとの認識であり、進めていく課題として5か年計画に盛り込みました。

医療生協の活動を多くの組合員さんに知らせる活動として機関紙があり、その活動に協力していただいている800名以上の組合員さんに感謝申し上げます。当面、機関紙は毎月発行しますが、理事会において協議し、今後の方針を出します。支部の援助金についても、事業所がない地区に関しては考慮した提案をしたいと思っています。年々、組合員さんの高齢化に伴い、機関紙配布をはじめとした活動が厳しくなっていると多くの意見をいただいています。新規の班づくりや仲間増やし、班会の充実で担い手を増やすことが解決につながると思っています。

新入職員・退任理事の紹介

式の最後には、今年度から新たに入職した職員の紹介があり、新任医師2名が登壇し、出席した総代の方たちに今後の抱負を述べました。その後、この日をもって理事を退任する住吉支部の福田理事と日高理事長による退任のあいさつがあり、第35回通常総代会を終えました。

いのちの章典

7月12日（金）の午後から13日（土）の午前にかけて、「いのちの章典実践交流集会」が開催されました。この行事は、日本医療福祉生活協同組合連合会（以下…医福連）が主催で毎年開催しており、今年度のテーマは「ともに生きる一人ひとりのものがたり」でした。12日は実行委員長による基調報告と、医福連所属の全国の医療生協の組合員さんによる活動の報告が行われ、13日は村木厚子さんによる「いのち輝くとき」の講演、全国各地の医療生協の職員や組合員さんらによるパネルディスカッションの2部構成となっていました。Web上での開催となっていたので、両日ともに宮崎医療生協の本部2階会議室まで組合員さんが来られ、視聴を行いました。

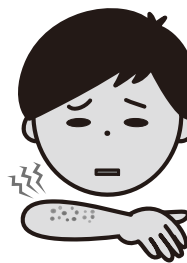


13日の講演に参加した組合員さん

12日に行われた組合員さんの報告は、全国35生協から140演題が集まり、宮崎医療生協も西部支部から『あおぞら健康相談会』は「くらしと健康を守る」活動、東大宮支部からは『新田原基地現地学習会から平和について学ぶ』の発表を行いました。また、医療生協の職員からも発表が行われ、宮崎からは全部で6演題の発表が行われました。発表をした大宮支部の田崎理事からは「発表は緊張しました。分科会では全国各地の生き生きとした活動報告を聞くことができました。これからの活動の参考にしていきたいと思っています。」と感想を聞くことができました。

13日の村木さんの講演とパネルディスカッションも、たくさんさんの組合員さんが視聴し、今年度の交流集会は終了しました。

健康コーナー



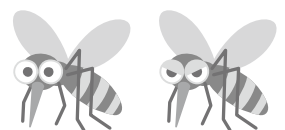
皆さんこんにちは。初期研修医1年目の斎藤優敬です。本格的に厳しい暑さがやってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？今回はそんな暑い夏に注意していただきたい「虫刺され」についてお話をしたいと思います。

●蚊に刺されてかゆい!

誰しもが、様々な虫に刺された経験があると思います。その中でも蚊に刺されてしまった場合は、痒みを伴って皮膚が赤く腫れあがります。これは、吸血時の蚊が人体に送り込んだ分泌物によるアレルギー反応によって症状が引き起こされているからです。症状は、年齢や体内に入った分泌物の量、アレルギー反応の程度によって個人差が大きくなっています。一般的には数時間から数日で症状が軽くなる場合が多いですが、中には掻きすぎてしまい炎症がひどくなったり、伝染性膿痂疹（とびひ）になって水ぶくれができてしまったりと、様々な危険性があります。蚊に限らず、虫刺されによる痒みなどの症状が強い場合は、患部を流水や水で冷やすといった対処や、抗ヒスタミン薬やステロイドの内服薬などが必要になります。速やかに病院を受診するのがよいでしょう。

●できるだけ虫に刺されないためには？

屋外での活動をする際には、できるだけ肌の露出を少なくすることや、適切に虫除けスプレーを使うことなどが虫刺されへの予防として挙げられます。また、屋内への虫の侵入を防ぐためにもドアや窓を開けっぱなしにしない、清潔な環境を保つなどの工夫が大切です。十分な対策をして、暑い夏をできる限り快適に過ごしましょう！



宮崎生協病院
初期研修医 斎藤 優敬